

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。

ビールの里 プロジェクト



わたべともき
渡部智秋さん

39歳
千葉県四街道市出身

①ホップ農協事務局・裏方としてホップ農家を支援できたことです。②ビールの里プロジェクトに関わる人や他の協力隊メンバーと連携し、農家さんの負担が減るような取り組みを目指しています。

ビールの里 プロジェクト



やまのつきよ
山田月乃さん

28歳
神奈川県横浜市出身

①遠野の農泊関係者や旅行事業者さんなどの新たなつながりが、コロナ禍でも実施できるツアーのヒントになりました。②ホップやビールを通して、遠野の魅力を伝えるツアーを増やしたいです!

ビールの里 プロジェクト



おちだいけい
小田切大輝さん

31歳
山梨県甲斐市出身

①季節で移り変わる遠野の美しい景色が印象的です。この景色をさまざまなアクティビティやビールと共に楽しんでもらいたいと思いました。②一人でも多くの遠野市民と一緒にお酒を飲むことです。

ビールの里 プロジェクト



こやまたくろう
神山拓郎さん

31歳
東京都府中市出身

①ホップの栽培から収穫、加工まで一連の作業に携わり、栽培現場の現状を把握しました。②ホップ以外にも含めた遠野の農業をサポートする仕組みづくりや遠野ならではのビール体験を広めたいです。

物産観光振興 プロジェクト



みやたたくみ
宮本拓海さん

27歳
奥州市出身

①多くのプロジェクトで企画や広報などを行いました。プライベートでもバスケットを始め、遠野生活がとても充実しています。②任期終了を見据えながら、より多くの人の役に立てるようにがんばります。

物産観光振興 プロジェクト



やすひろ
只松靖浩さん

45歳
福岡県福岡市出身

①たくさんの人と出会い、お話をできたことです。②遠野を舞台にした絵本を作ること。本を通して、自然や文化の豊かなふるさと遠野を子どもたちやさまざまな人に伝えたいです。

特産品魅力発信 プロジェクト



なかせふうこ
中澤風由子さん

25歳
埼玉県さいたま市出身

①話し合いを重ねて宮守川上流生産組合の通販サイトが完成したことです。②いろいろな魅力を学んで発信し続けたいです。ガイド活動もやりたいので、上手に伝えられるように先輩を見習います!

森林×感性 プロジェクト



おちだいけい
大地漢さん

27歳
秋田県秋田市出身

①暮らしと自然のつながりを発信するため、森や自然の魅力を発信する取材や仕事体験をしました。②森と暮らしをテーマに、街の人にとって森が身近な場所になるような取り組みを行っています。

食と農 プロジェクト



はたけしずか
坂口秀美さん

28歳
埼玉県久喜市出身

①遠野の文化や歴史、地域住民の皆さまとご縁が増え、発見と学びが多く楽しい毎日を送っています。②世代を越えて、より多くの人々が楽しく農に関わる機会を増やしていきたいです。

ローカルプロデュース プロジェクト



たなかみさき
田仲美季さん

25歳
千葉県船橋市出身

①しし踊りやファンタジーへの参加、空き家活用を行なっています。皆さまに支えられ遠野がますます好きになっている毎日です。②大好きな遠野に訪れていただける事業をプロデュースしていきます!



1年間の振り返りと 来年度の抱負を聞きました

現在、本市で10人の協力隊が活動しています。さまざまなプロジェクトに挑んでいる隊員に①この1年の活動で印象に残っていること②来年度の抱負——を聞きました。

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。本コーナーでは、遠野の歴史文化や、遠野遺産などについて紹介します。



ひな人形のほか五月人形なども一緒に飾る遠野のひな祭り(写真は市立博物館、6日まで展示)

遠野南部家の城下町として栄えた遠野の町家には、今も数々のひな人形が伝えられています。大正時代、遠野で発刊された新聞「上野新聞」によると、旧暦3月1日に「ひな市」が開かれ、商家を中心に江戸や京都から来る豪華な衣装のひな人形のほか、遠野産や花巻産の土人形が買求められたとの記録が残っています。遠野のひな飾りは、ひな人形のほかに五月人形や錦絵なども飾るので、昔はちよつとした美術展覧会のような感じと伝えられています。ひな祭り当日には、子ども達が連れだって「おひな様、見せ

遠野のひな祭り



「流しびな」などにも使われる紙製の人形

てくなんしえ」と言いながらひな人形を見て歩く「お雛見」と呼ばれる風習がありました。それぞれの家では子どもたちに白酒やあま酒お菓子やお寿司などを作ってご馳走しました。「お雛見」の風習は、遠野商工会が中心となり平成12年に「遠野町家のひなまつり」として復活。多くの商店や町家に参加してひなめぐりの行事が行われています。ひな祭りの行事は古くから続く年中行事のイメージがあると思いますが、現在のような形式が確立したのは江戸時代の中期以降だとされています。平安時代の貴族の子女の人形遊び「ひいな遊び」と、3月の節句に自分の罪や穢れを人形に移し、水に流すことで祓う信仰行事が溶け合い、現在のひな祭りになったと考えられています。

第146回

遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第157号「複合遺産」(平成30年8月19日認定)

迷岡駒形神社と一里塚

推薦者 迷岡自治振興会

迷岡駒形神社は、土林家の狩人・孫之丞が扇ヶ洞(おうぎがほらとも言う)にいた馬を誤って撃ったことを詫げるため、馬の神様である蒼前様の宮を建て祭ったのが始まりとされています。一里塚は慶安年間(1648~1652年)の頃、遠野南部家の命により宇迦神社(現中央通り)の境内を起点として諸街道に築いた塚の1つ。旧花巻街道沿いに設置されたもので、円形で2基ともほぼ完全な形で現存するものは貴重であることから、本市の指定史跡にもなっています。



▲写真右奥が一里塚



MEMO

- 往 宮守町下鱒沢7地割222番地2
- 交 JR 鱒沢駅から車で約10分
- 問 鱒沢地区センター(☎69-1150)